

2158

繪本寫寶袋

五

繪本寫寶袋五



繪本寫真袋卷五之卷目錄

金龍護世王圖

周公且之像

周公作指南車圖

羸北子養馬圖

幽王放火其圖

甯戚叩牛角圖

晉重耳月遊仙圖

覆水不可收圖

叔虞作桐葉封弟

換王逢為王母圖

姜皇后侍宣王圖

管仲之圖像

秦穆公以寡救弟

趙衰梳篦奪晉耳圖

寫錦袋五

卷由基之像

顏丈人猿及丘山圖

伍子胥爭舟的捕魚

雲外小艇射魚圖

孔子嬰兒之時戲圖



繪本寫宝袋六之卷

全龍武王の守護する事  
 殿の討主無道を乃くして萬民を普虐を武王は憂ふこと公  
 皇を議と天下に於てゆふ討主を乃くして一なるんこと  
 萬騎の軍兵を起し帝都を何れを討主を八十万騎を牧  
 野に我ひす小阿殿の法おもふ戦員を進ひゆわくはなふ  
 討主を大お小方相このまに論を擧ぐるは扱て必は武王の  
 陣にお入らば実たに斬りて死すべしと武王は言ふ  
 乃坐海にりし入るる龍をひて武王に刺んするはおの光輝  
 輝りて八咫の命龍女現して武王の車駕を遮る方相  
 驚ては成をせし龍直生南宮治の二おとて小討んとい方相  
 あれ我とい三十余命過は治提きて武王に引て武王方お  
 勇かす惜し命を殺すは後方おる討主敗れ亡ひゆるの  
 面目ありて命成保らん中をさつて首刎て死す

寫錦袋五

方相

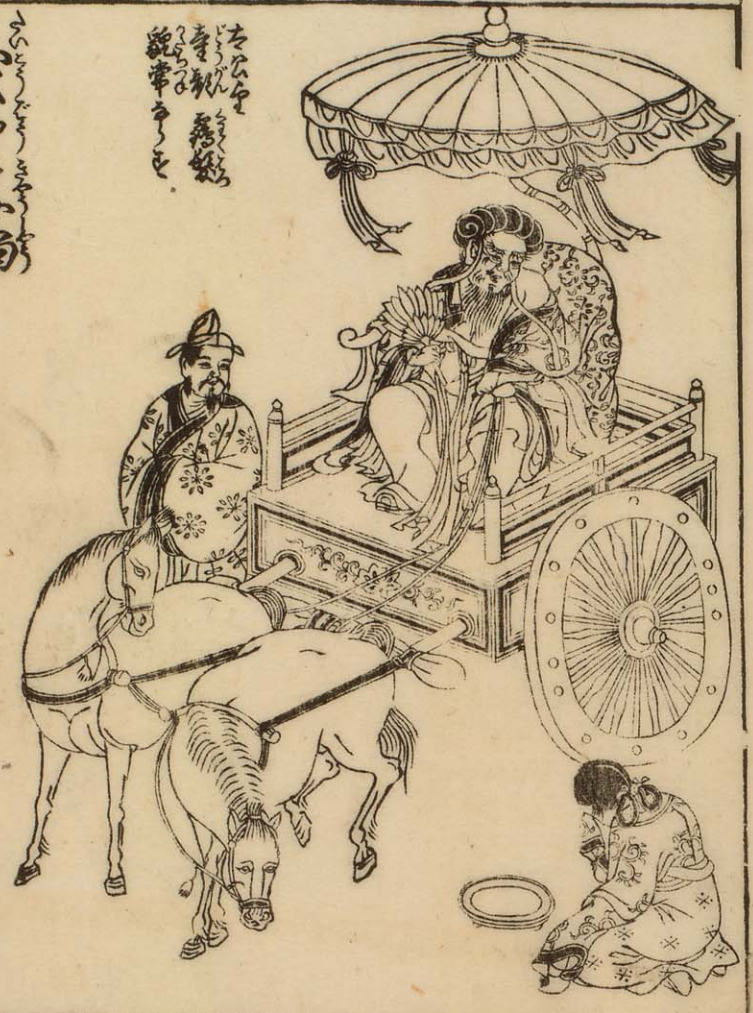


周武王



大公室姜尚

大公室  
姜尚  
親率  
親率



寫錦袋五

覆水盆て盆に收らぬ  
 大公室の如仙大軍師と多引て討まがれ平布一とん  
 武王帝位は即さる大公室と森といふ大室は主とすま  
 よつて大公室を勇中務徳成若し白馬の車に乗り殺  
 午の御ちま士率えつて群衆とぞいのろく金銀と  
 幣は掃てけりて越つて小舟始御りける事  
 乃る氏いふと夫と路の側よも迎ひ車の系に乗り渡  
 ぬ一妻智恵過して先小舟御成りいま後悔とる  
 かひは我つくと我つと先此とゆり再びとつと節あ  
 なうとよみ大公室とまつら盆に盆に入らせあ日と池  
 覆してまご盆入るるとよみと書すかつらとる云の  
 とれと惟の盆はあり大公室の如く一と御り  
 してあつてお盆を覆ぬかたの盆と盆と盆と盆と  
 らうあしと車と押せそ妹と書ぬ悔とつてつて死と



周自 文王の子武王の弟なりて大將たり武王崩らばの成王幼年を  
 即位ししより周公旦の攝しし事侯の元祖なり 史記世家  
 周の宗室は後には七年の後成王に還りて周の侯も封じ  
 たりと云ふと畏くおぼく二五年八十二歳にて薨じり

周公旦

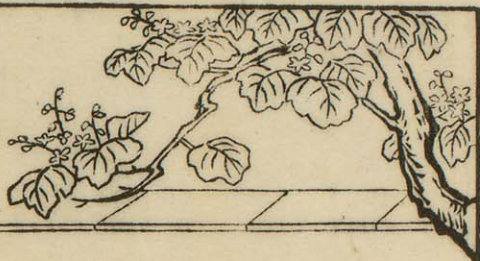
賈曰  
 姓姫名旦武王  
 弟魯朝攝政作  
 樂制禮二叔不  
 成居東有懸金  
 織啓忠雷明應  
 敏發衣言歸赤  
 爲何病展祀魯  
 邦千載元聖



寫錦袋五

いふに武王の弟なりて大將たり武王崩らばの成王幼年を  
 即位ししより周公旦の攝しし事侯の元祖なり 史記世家  
 周の宗室は後には七年の後成王に還りて周の侯も封じ  
 たりと云ふと畏くおぼく二五年八十二歳にて薨じり





桐葉之詩 叔虞

桐葉落庭除  
 吾王削作珪  
 如念連枝秀  
 春風共暢舒

周成王

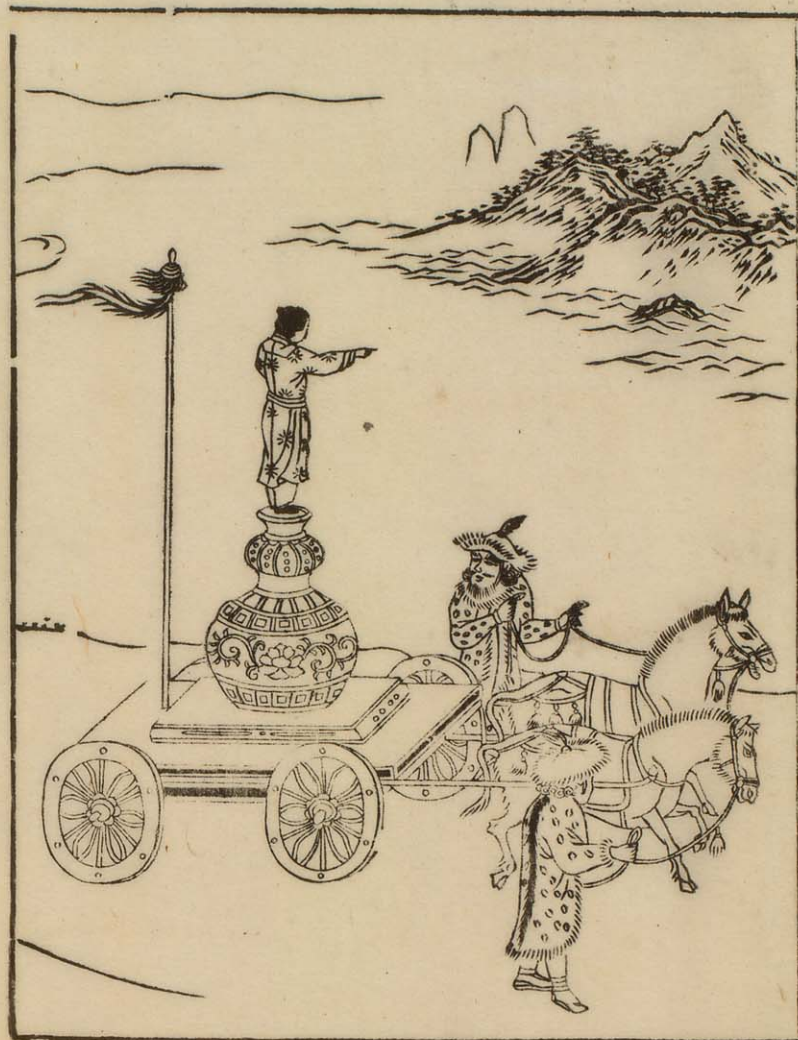


叔虞

先王の太子元服後より  
 練冠の三回をこころる



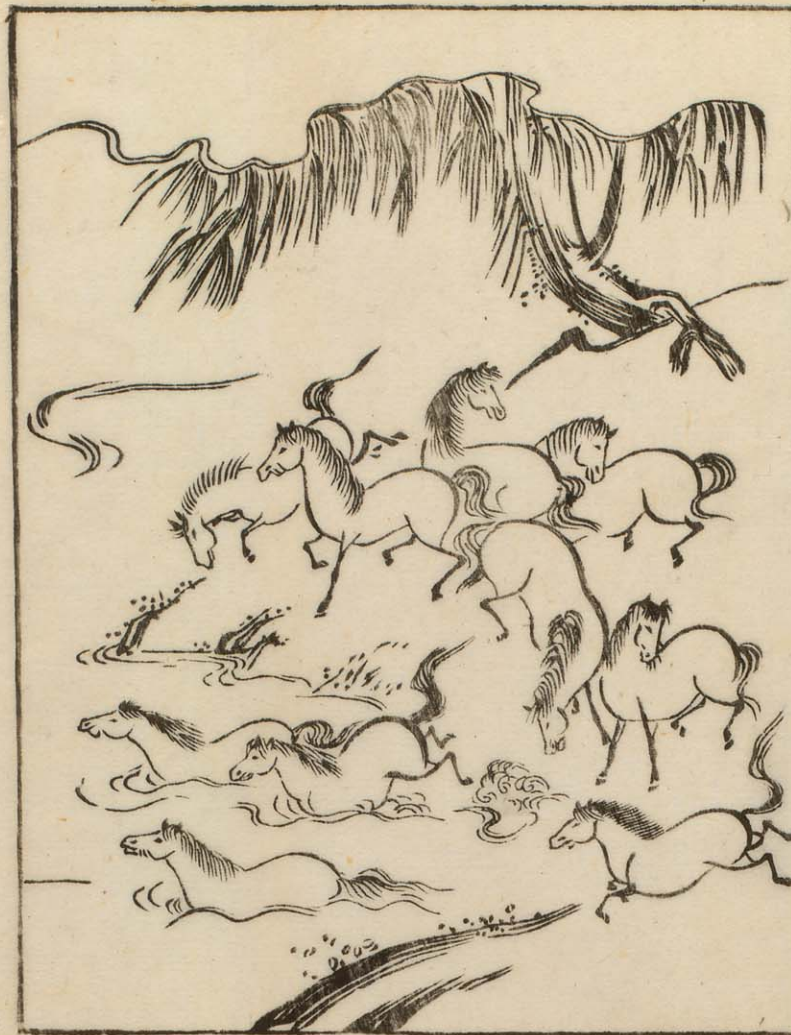
史佚













因君王の二千之瀛羅姫子お遊ばせいでさうく春て物憂い千と  
 朝日小振子勅命のうけてさうく済留とら大河の邊に書ふ  
 け河の魚の成りて毎日成りて先づ門幕のけ河とてあま姫  
 子一川の汁のせし乳をよ養れとよつたれ魚あれる乳をよ  
 入て居しあけを時春のさる乳をよと乳をよ養いとさりお  
 鳴鳴たれけ河の魚成りて先づ乳のぬきてお千五川へ後て  
 け方乳成りて先づ乳をよとて一年中さうくお成りて成  
 者主大いおいぬ子に泰國へ婿小尾泰塔を幸の氣程なり  
 因宣王の妻會后の愛一屋敷酒宴して必幸にありなすお  
 あまは嘆と侍表とる王想てを意地は投打台后を養と乳  
 ありてとて見のひて是宮王にたあす妻と料なりとて月  
 幕の院の衣裳と御く王の前は踏下及ておておすよ  
 色りたさよの宮長妻成續しりゆなりおくは妻と死して  
 因幸と理りくと侍表を宣王にさし改めくおとりのいふ

王宣諫善脱后皇多美



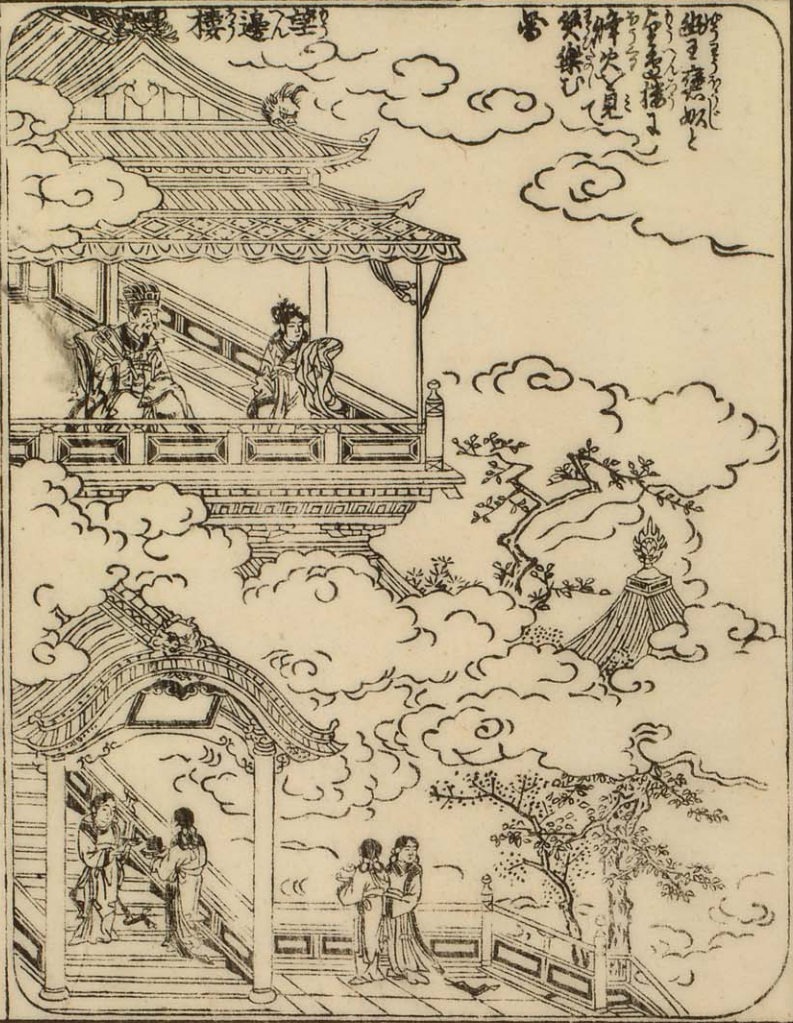


烽火臺之圖





物と徳奴と  
おとせし  
物と徳奴と  
おとせし  
物と徳奴と  
おとせし  
物と徳奴と  
おとせし



寫錦袋五

物と徳奴とを名に揚し物と徳奴と見えて笑ひ樂いませ  
 輝火香く云い重城小大寺おとせしは先よ烟とあけて邦を  
 ちの小園よりあられと見て地多うあかりあうくに用重  
 意州といふ人成親愛してたまふは小煙のあかり小重の法儀  
 小重と幸て物小重の物と意州と并小重を揚しあけられ  
 見ゆる小路くも秋やうもまの嵐はあうよと重とあうり  
 くいまに改り玉笑へと重と極て大よ笑樂ひも後大茂中  
 物と仰し重城成せむらひらけて輝火とあけて法儀とあそ  
 又玉のあそびとととととと一人と重とす物と重とよあひを  
 乃とあふやろびりよ 物と重と絶婚の刑と物と輝火香の香と  
 是と一重の香と重と大の香と重と重と重と重と重と重と  
 あやうと重の香と重と重と重と重と重と重と重と重と重と  
 重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と  
 是と重とお重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と  
 重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と重と







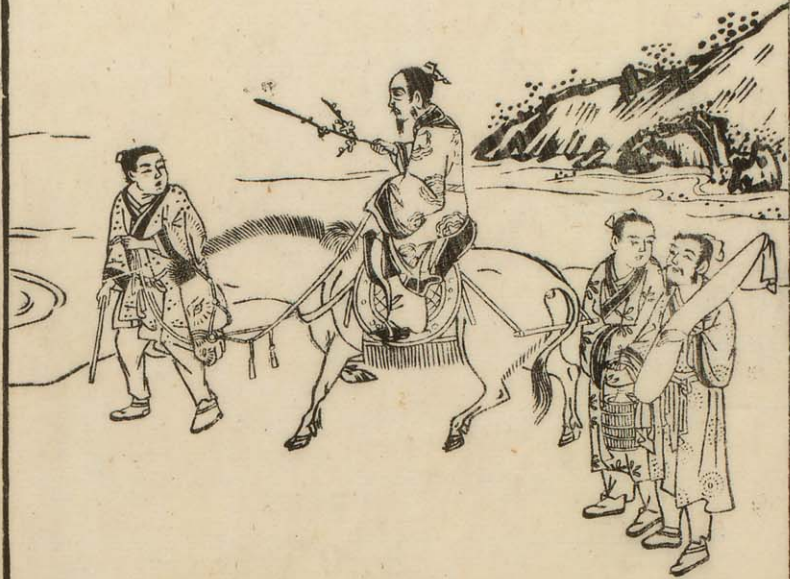
南山燦白右爛中有鯉長尺半  
 生不逢堯頌舜禪短楊單  
 衣纒至前從昏飯牛至  
 夜半長夜漫々何特且







桃花紅時李花白  
桃紅李白呈春色  
惟有寒梅不鬪芳  
藐視春光為過客





蘇の徳と云ふに姓の塞名の叔字の伯尉と云ふの持、右今ふ  
 通しく此事小嶋と云ふと云ふ事、語して中ふむの茶屋公  
 百里実の考、小嶋して公子、蘇と蘇子と云ふて、聘し蘇州ら  
 ち、お成るまで、見ふ小竹林の中、以、徳、徳、なす、白ん、成、た、お  
 ちて、芽、成、り、蘇、子、より、下、り、案、の、鹿、と、叩、く、内、より、童子  
 出、て、主人、へ、と、物、り、花、見、よ、あ、つ、り、物、て、う、る、な、り、と、い、ふ  
 と、く、く、く、く、一人、の、耳、を、く、か、ら、も、聴、こ、う、る、布、の、袍、を、着、て  
 一、強、に、の、き、り、て、小、梅、花、一、枝、より、ら、な、は、を、梅、乃、侍、冷、  
 一、僕、小、梅、守、り、し、る、を、そ、れ、蘇、出、け、し、蘇、成、れ、り、り、り  
 一、建、く、茶、屋、は、入、り、蘇、蘇、云、の、命、成、り、ら、蘇、成、か、つ、蘇、と  
 蘇、の、白、ん、且、百里、実、の、若、し、ら、と、ら、り、と、云、お、ん、そ、も、云、お、  
 一、仕、と、後、り、茶、本、と、共、に、蘇、の、白、ん、や、と、蘇、成、り、侍、い  
 一、奉、に、お、る、春、公、踏、り、降、り、し、つ、り、遠、く、と、云、お、れ、下、百里、実、  
 一、云、お、れ、治、し、ま、り、蘇、の、圃、大、に、覇、業、と、振、お、り、か、る、色、を  
 一、官、と、稱、し、蘇、の、録、材、は、り、半、余、と、く、死、と

晋の獻公、驪戎、伐、以、成、て、驪、戎、と、い、て、又、人、と、い、ふ、蘇、の、生、蘇、  
 一、蘇、の、色、が、み、と、云、く、後、と、嗣、と、中、と、れ、い、ち、子、中、生、と、後、  
 一、殺、と、中、生、の、身、守、耳、將、と、云、圃、は、地、且、音、耳、の、音、美、云、  
 一、梁、の、坐、に、之、る、中、後、里、克、と、い、小、臣、実、蘇、と、殺、し、驪、戎、が、遠、成、  
 一、り、ら、は、一、夷、音、と、遠、く、後、小、即、先、と、恵、公、と、い、音、耳、の、將、の、女、  
 一、と、婚、す、十、余、年、と、將、て、一、の、子、を、生、み、長、速、蘇、毛、等、と、儀、し、て、  
 一、蘇、楚、と、遠、さ、大、と、浩、遠、と、晋、の、圃、は、か、つ、り、入、ら、ん、と、て、之、衛、の  
 一、王、に、お、り、衛、公、門、と、定、て、圃、を、こ、し、音、耳、然、て、遠、く、と、た、に、曹、  
 一、圃、は、い、ら、ん、糧、米、と、お、す、病、を、い、は、ら、ん、と、い、ぬ、く、の、養、又、牛、  
 一、飯、と、食、ふ、音、耳、抗、僮、と、て、食、を、束、し、農、又、と、白、我、お、村、庄、  
 一、乃、小、吏、何、ぞ、侍、り、お、ん、と、云、蘇、蘇、を、去、ら、ん、と、云、抗、僮、は、今、て、食、  
 一、中、に、云、なり、抗、僮、ら、ん、と、云、魏、樂、を、安、く、と、蘇、を、取、り、て、圃、を、  
 一、と、抗、僮、は、圃、を、圃、の、基、を、り、て、圃、を、い、は、ら、ん、と、云、音、耳、然、  
 一、り、と、車、より、下、て、抗、僮、を、い、内、介、子、抗、僮、の、肉、と、音、耳、に、  
 一、抗、は、蘇、小、吏、抗、公、宗、堂、氏、と、音、耳、に、妻、と、音、く、是、と、侍、と





十英傑  
 輔佐  
 重耳  
 從之

趙衰字子餘  
 臼季字晉臣  
 公孫買陀

魏犇字公詡

介子推字公愆

顛頡字高舉

先冊木字時春

畢萬字檢之

狐毛字子羽

狐偃字子犯











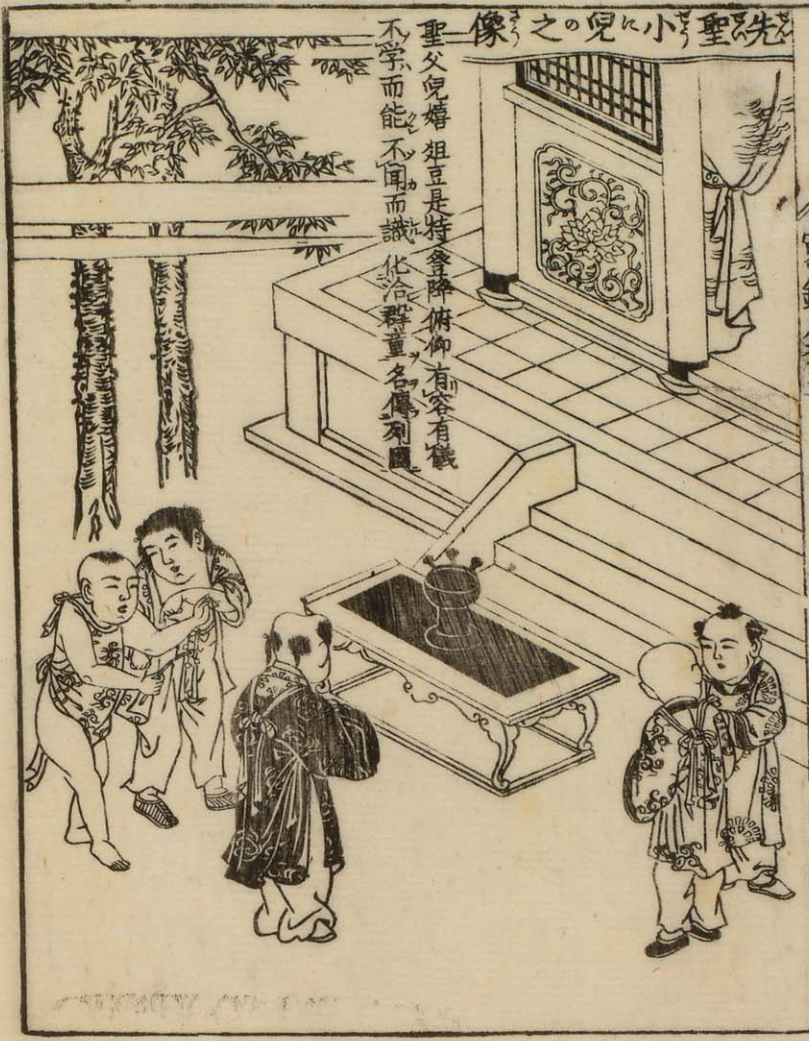






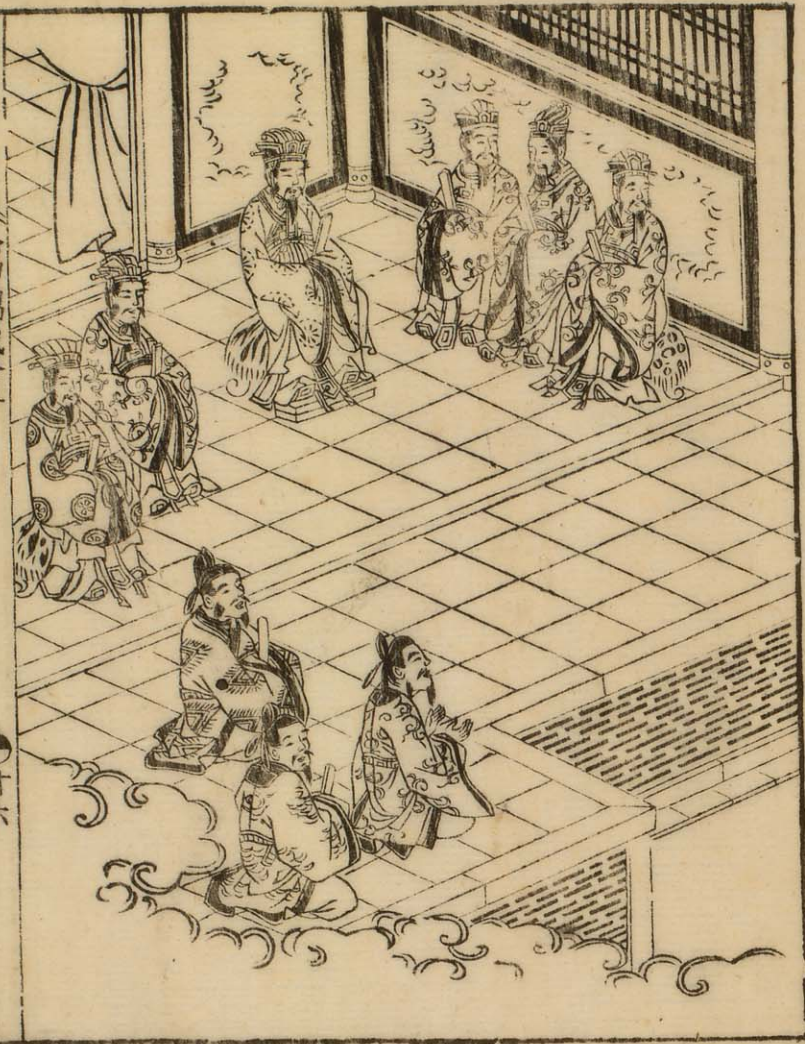
先聖の兒に小像

聖父兒嬉相豆是特登降俯仰有容有儀  
不学而能不聞而識化洽群童各傳利圖



奈の君公親業と天下に振らんと旅一團乃天子に奏して奈  
依侯と依信よと云と又階小公と云方に依く依りて奈拾  
よせんと振らん云と小別家の依侯各宝物と振て信業  
あり無乃云又是平仲と云くわいあり一依侯云するい云と  
公の正車して文武無倫の士代はて別玉乃是也と振り  
定むの是の猶といふ是の捕と云はると衣公と云ら文  
題下、いふ文宗は我の善の時又守る平介の興と  
奉る云ありい織と守平平八の是月夜書下は  
天行所附地何依  
い水源は竹處出  
人乃造運非者童  
依奉去題要問  
も何奈國の將軍公孫后とていふ事一守られん道如  
す川題と書て後西のちと興の奉地はとあり守る二尺面  
新くして下に金法入われん感すまふの猶といふ事守る亦に







整ととののあま家かみ冬ふゆ子こ音ね向むか道みちくく曰いは公こう孫そん后ご文ぶん法ぽう備びくく題だい之の儀ぎ也なり

天あま元もと微ひ地ち々々降くだるる天あま地ち皆みな定さだむむ又また教し先せん

去い伸の子こ守まもりり又また切きりり人ひとをを貴たかむむ万よろ物もの冷ひやるる

整ととのへへ大おほ玉たま子こ何なにととてて割わりりやや子こ音ね向むか我われ整ととのへへ室むろととすすはは惟ただ若わかくく

方かた寸すんのの珠たまひひせせんんやや夏なつ云い理り子こ依よりりとと若わかくく然しかららばば子こ音ね又また夏なつ公こう孫そん后ご

曰いは清せい美みのの一ひと路ろととんん法ぽう法ぽう打うち出でるる天あま孫そん后ご送おくりりああららはは公こう孫そん后ごおお

終はつくく實まことををああららははららてて依よりり教してて花はなをを能あたははししるる備び子こ音ね向むか切きりりううららくく依よりり保たもんんどどおおののくく解とけけししててままよよららるる 又また春はる後ご